

令和3年度みんなのまちづくりフォーラムにおける参加者のご意見・ご提案に関する本市の考え方について

No.	ご意見・ご提案の概要	本市の考え方
1	多方面の分野でそれぞれ創造的な活動をされていることに感心しました。いろいろな活動の連携の必要性を皆さんが訴えていました。仙台市にお願いしたいことは、皆さんが集える場(集会場)が逼迫しており、気楽に集まれる会場が限られていることが活動の障害となっています。市民の活動を支えるためにも市はこうしたハードの面での改善をして欲しい。	本市においては現在、「仙台市公共施設総合マネジメントプラン(平成31年3月)」に基づき、整備拡張から現有施設の保全・活用を徹底し、今ある施設を大切に長く使っていくため長寿命化に取り組んでいるところであり、市民センターやコミュニティ・センターについては、全市的な基準に基づき設置していることから、新たな施設の建設は難しい状況です。 地域において自主的に設置及び運営を行う集会所については、設置の助成制度があり、補助上限額の引上げ等、制度内容の見直しを適宜行っております。集会所の設置については、地域の状況や要望に応じて、今後も、助成制度による支援を実施してまいります。
2	中高生や学生もまちづくりに参加しやすくするため、企業や行政は学校を通してボランティア活動の情報やイベント案内などを発信して欲しい。	高齢化が進む中、今後のまちづくりにおきましては、より一層、学生をはじめとする若者の力が重要になると考えており、本市基本計画の「地域協働プロジェクト」に掲げているとおり、若者がまちづくりに関して考え、実践する機会をつくり、地域づくりにやりがいを持てるような取り組みを進めてまいりたいと考えております。
3	自分自身も高校生と企業やステークホルダーのつなぎ役であるが、市役所には活動の参考になるような企業の事例を紹介するなど、仲介の役割を期待している。	
4	歩行者と自転車と車が混在しているところがあるので、一体的な整備が必要。また、自家用車による混雑を避けるためにも、JRや市営地下鉄、バス、DATEバイクのような交通手段を総合的にデザインして、機能を強化しても良いのでは。	本市においては、近い将来に迎える人口減少社会を見据え、持続可能な機能集約型都市構造の形成と過度に自家用車に依存しない、公共交通を中心とした交通体系の構築を一体的に進めており、交通事業者をはじめとした関係者との連携のもと、取り組みを進めてまいりたいと考えております。
5	文化とデザインのバランスのとれた居心地の良いまちになって欲しい。個人的な想いとしては、仙台市にデザインのミュージアムの設置をお願いしたい。	本市基本計画に掲げる「ライフデザインプロジェクト」において、音楽や芸術などの創作活動がまちの新たな魅力となる環境づくりなどを盛り込んだところです。市民の皆さまとともに、文化芸術の創造性を生かしたまちづくりをさらに広げる取り組みを検討してまいりたいと考えております。
6	子どもや子育て世代で溢れるまちを実現するためには、対面だけでなくSNSも活用しながら子育ての悩みを共有できる場をつくり、お互いの経験を活かせるような機会があればいいと思う。	子育て世代の交流は重要な視点であると認識しており、乳幼児や未就学児の子を持つ家庭の交流機会としては、のびすくをはじめ、児童館や保育所等地域子育て支援センター(室)などにおいて、様々な交流イベントを実施しております。このほか、サークル活動や乳幼児向けイベントなどを行う子育て支援活動団体の活動状況もホームページ等において広報しているところでございます。 感染症対策の徹底やオンラインによるコミュニケーションも積極的に取り入れながら、コロナ禍などの状況下でも可能な限り人と人が関わり合うことができる場づくりに取り組んでまいりたいと考えております。
7	このまちづくりフォーラムから、さらに発展して、実際の取り組みを行政と市民とPDCAサイクルまでやれるとすごく面白いものになると思った。異業種がタックを組んで取り組むと新しい化学変化が生まれて、今までとは違った切り口でアプローチ出来そうだなとワクワクしながら、参加できました。	現計画における進行管理の取り組みの手法として、来年度以降のフォーラム開催の際には、貴重なご意見として、参考にさせていただきます。
8	役所側との会話を増やした方が良い。また、オンラインイベントも増やすべきと思う。	
9	行政は事業の取り組みやイベントの案内を積極的に発信して欲しい。市民側も気付いていないので、たとえばスタンプラリーのように楽しめて知れるような仕掛けを行うなど、通常の広報に加えてみてはどうか。	
10	実践者の取り組みは大変参考になりました。せっかく集まった方々と一回限りで終わるのはもったいないので、LINEグループなどを作って交流できれば、まちづくりが活発化すると思います。	今回のフォーラムにおいて、自身の活動に関連するウェブサイト情報を共有するなど、今後の交流が期待できる様子が伺えましたので、引き続き政策形成過程等において立場や世代を超えて多様な方々からご意見を伺う機会を設けてまいりたいと考えております。
11	仙台市基本計画は美しいが、多くのまちづくりの計画は策定して終わってしまう印象がある。実現に向けた取り組みにつなげるために、市民の意見がきちんと市政に反映される仕組みを整えて欲しい。自分自身も地域の方と一緒に、どのような枠組みであれば意見が反映されるのかを考えている。市民が生き生きとまちづくりに参画できるようなまちになって欲しい。	
12	直接私たちの意見を聞き入れてくれないと何にもならないので、本当に国民の意見をわかりやすくとりいれた、そんな町づくりを仙台にして欲しい。	
13	イベントの総括でさまざまな観点のアイデアが聞けて面白かった。	
14	幅広い年齢や目的の違う人達の中でも、微妙にどこかが重なり、意外な化学反応が起き、新しい結果につながる可能性があるため、このような機会はとても大切だと思います。	